



博多あん通信

発行元
博多あん(安全)・あん(安心)リーダー会
連絡先
〒812-0882
福岡市博多区麦野5丁目22番6-505号
代表幹事 小森 勝輝

2016年(平成28年)

11月1日号
<No.30>

祝 10周年記念 ～10周年の振り返り～

2005年3月西方沖地震が発生し、その年5月に開講したあん・あん塾は、地震が発生する前からの企画でしたが余りにもタイミングが良く、募集人員100名に対し140名ほど応募があり、先着順で129名が受講、残りは次年度に回されるほどの反響でした。

2006年2月25日(土)第一回目のあん・あんリーダー会設立総会が開催され、80名が参列し活動がスタートしました。初期(会員数89名)は、2期生のあん・あん塾支援とよみうり防災セミナーのお手伝いが主な活動でしたが、2007年1月21日(日)東住吉公民館で70名の参加者に対して初めてDIGメイン講師をリーダー会が行い、21名の会員がサポートしました。以後、よみうり防災セミナーのお手伝いからメイン講師、およびテーブルファシリを行う形態が整い、2010年までよみうり防災セミナーを支援してきました。

2011年4月からは福岡市防災危機管理課との共働事業を始めましたが、東日本大震災後のタイミングであり、講座依頼数は福岡市出前講座の第1位を2年連続で達成、あん・あんリーダー会の知名度は急激にUPしました。

2013年には、福岡県防災賞(団体部門)を受賞し、この時期より内閣府・九州各県の防災担当部門、地域自主防・学校関係者より講座の打診が数多くなってきました。

現在では、福岡市内はもちろん、近郊の那珂川町などの防災訓練にも定期的に参加するようになり、地域防災力向上に向けあん・あんリーダー会の活躍は益々期待されています。

さて、博多あん・あんリーダー会設立10周年の記念行事として公式ホームページ開設を行う事になりました。活動内容の発信を中心に、予定や実績を適時掲載し情報を発信していきます。ドメイン名(検索住所)は<http://hakata-anan.org>(※orgはorganizationの略で非営利団体を表します)で、平成28年12月に公開する予定です。

(代表幹事 小森 勝輝)

熊本地震災害ボランティアバス ～災害ボランティアセンターの運営～

6月10日(金)参加応募者29名と福岡市ボランティアセンター、NPO・ボランティア交流センター、博多あん・あんリーダー会の運営メンバーが参加して、熊本地震による被災地支援活動として災害ボランティアバスが運行されました。

熊本市災害ボランティアセンター東区サテライトに到着後、被災者ニーズ(作業内容と人数)と参加者とのマッチングが行われ、全員がグループ単位で被災者の元へ移動し、被災家屋や室内の片付け作業に汗を流しました。ボランティアセンターのスタッフは応援も含めた社協の方、他の地域から参加されている個人の外部ボランティア、地元ボランティア、救護担当の看護師の方が中心となって運営されていました。その中で、継続して運営に協力されている地元ボランティアの土地勘やコミュニケーション力が、被災者の対応や外部ボランティアのサポートに大きな戦力となっていることから、福岡市で災害ボランティアセンターが開設され運営ボランティアが必要となった場合、地元のボランティアリーダーの存在が重要になると実感しました。

(城南支部 浦野 正幸)

三宅小学校と合同避難訓練

9月24日(土)三宅校区自治協議会と三宅小学校と合同の避難訓練を実施しました。校区全組織、各種団体、南消防署、三宅・三宅東消防分団、日赤、福岡市水道局と多方面からの協力の元、消火、簡易担架搬送、心肺蘇生法、給水や炊き出し等さまざまな訓練を実施しました。

今回で三宅小学校との合同訓練は3回目となります。去年までは平日実施のため高齢者の参加が多かったのですが、今年からは小学校の「土曜授業」が始まり、授業参観日として若い保護者の参加がありました。

頻発している色々な災害は、他人事ではないと皆が強く意識しておくべきかと思います。そこにリーダー会の出番があるのではないのでしょうか。

(南支部 天前 陽一)



災害ボランティア相談コーナーの開設

熊本地震による災害復旧に、被災地区から多くのボランティアが要請されました。

その要請に答えるために、福岡市NPOボランティア交流センター「あすみん」内に相談コーナーが開設され、福岡市市民局 コミュニティ推進部 市民公益活動推進課より依頼があり、リーダー会が担当しました。

ボランティアをやりたいけどどうしていいかわからない、何を準備していいかわからないという相談に、災害ボランティアへの心得や必要な準備などの基礎知識のレクチャーの他、現在のボランティア募集情報を踏まえたアドバイスをする役目です。

4月30日から(5月ゴールデンウィークは毎日)6月末まで設置され、リーダー会が交代で常駐して、市内外からの問合せに対応しました。

詳しくは「あすみん」フェイスブックで見ることができます。

あすみんフェイスブックはこちら

<https://www.facebook.com/asunoshimin/?fref=ts>

(西支部 東島 弘)



クロスロードについて

クロスロードは、大地震の被害軽減を目的に文部科学省が進める「大都市大震災軽減化特別プロジェクト」の一環として開発されたもので、平成16年最初となる「神戸編・一般編」が完成しました。リーダー会では、平成23年から始まった福岡市防災・危機管理課との共働事業提案の小中学校での防災教育において活用をはじめました。クロスロードとは、「岐路」、「分かれ道」のことで、そこから転じて、重要な決断、判断のしどころを意味します。

クロスロードは、防災の取り組みでみられるジレンマ～例えば、「避難所において人数分用意できない食料を配るか配らないか」～といった設問を参加者に投げかけ、参加者が、自分自身で、二者択一の設問にYESまたはNOの判断を下すことを通じて、防災を「他人事」ではなく「我が事」として考え、同時にグループの参加者同士が意見を交わすことで、様々な意見や価値観を参加者同士が共有することを目的としたゲームです。

当会で行うときの進め方は、7名前後の奇数で参加者をグループ分けし、参加者に対して出される設問に対し、一人ひとりに配られたYES/NOカードを裏向きで提示し、ファシリテータ（進行役）の合図で参加者が一斉にカードをオープンにします。

その後、各自が何故YESまたはNOと判断したのか意見を交わします。その時一人だけYESまたはNOだった人がいたときは、その人の意見を最初に大事に聞くようにしています。これは、防災では、「みんなが見落としていることが重要かもしれない」という精神を生かし、少数意見を大切にしているからです。災害においては必ずしも正解があるとは限らず、また過去の事例が常に正解でないこともあります。ゲームを通じ、それぞれの災害対応の場面で、誠実に考え対応すること、そのためには、災害が発生する前から考えておくことが必要であることに気づくことが重要です。

(城南支部 牧菌 典浩)



西支部からの報告

4月の熊本地震後に愛宕浜地区と金武地区で実施した防災訓練は、近くで巨大地震が発生したということもあり、参加者も真剣さが増していました。

6月4日の愛宕浜校区 HUG は、毎年恒例で防災班の交代メンバーで実施されています。半分は経験者であり、ゲーム進行は経験者がリードを取りながらスムーズに行っている感がありました。「HUGカードが地元の地名であればもっと臨場感が出せる」との意見があり、何回か経験している場合はやり方も工夫が必要だと感じました。

6月26日の金武校区は、室見川に近接しており例年「水害編」で進めていましたが、熊本地震の影響もあり、今年は「地震編」でDIGをおこないました。この地区は農耕地と新興住宅地が混在する地区であり、特徴を地図の上で確認しながら、ため池が決壊したら大変だ、病院が少ないなど意見が飛び交い、熱気が溢れていました。



(西支部 東島 弘)

トピックス ～これからの活動を紹介しします。興味がある方は事務局までご連絡ください～

出前講座：DIG、HUG、クロスロード他

- | | | | | | |
|-------------|-----------|--------|---------|-------|-----|
| 10月末現在実施状況 | 9回 | 受講者 | 400名 | 会員参加者 | 60名 |
| 11月 2日 (水) | 城南高校 | HUG | 受講者 40名 | 会員参加者 | 7名 |
| 11月 6日 (日) | 田島公民館 | DIG | 受講者 30名 | 会員参加者 | 5名 |
| 11月 10日 (木) | 大池公民館 | DIG | 受講者 20名 | 会員参加者 | 4名 |
| 11月 16日 (水) | JR シティ会議室 | クロスロード | 受講者 30名 | 会員参加者 | 6名 |
| 11月 25日 (金) | 城西中学校 | HUG 他 | 受講者 80名 | 会員参加者 | 6名 |

共創による地域づくりアドバイザー

- | | | | | | |
|-------------|--------------------|--------|---------|-------|------|
| 10月末現在実施状況 | 18回 | 受講者 | 1,888名 | 会員参加者 | 118名 |
| 11月 26日 (土) | 西長住公民館 樋井川3丁目2区自治会 | クロスロード | 受講者 30名 | 会員参加者 | 6名 |

研修会

- 12月17日 (土) 16:00～17:00 第2回研修会「災害から自分の命と財産を守る方法」
福岡大学建築工学科 教授 古賀一八先生

終了後忘年会予定

福岡市総合防災訓練

- 12月 6日 (火) 会場：福岡市博多区 マリンメッセ (避難訓練&避難所体験)

防災どんたく 第3回安全安心フェア

- 平成29年3月5日 (日) イオンモール 香椎浜

(事務局長 平山 光典)

堤地区防災研修 ～共創による地域づくりアドバイザー～

8月7日 (日) に城南区堤公民館で「堤地区防災研修」が行われました。12月4日(日)に実施する校区防災訓練に向けての研修という事で、各町内の役員や団体委員など71名が参加し、クロスロードを行いました。

ゲームを始める前に頭の体操として「月旅行中に遭難したら・・・」という問題を考え、いよいよクロスロード問題4問に挑戦しました。「避難所に向かう途中でブロック塀の下敷きになっている人を発見したら、助けるか、通り過ぎるか」「避難所に避難している人は300人。確保できた食料は200人分。配るか、配らないか」などの問題に、一人一人が一生懸命考え、自分の意見をはっきりと発言し、他の人の意見に耳を傾け、どのグループでも活発な意見交換が行われていました。

クロスロードが終わった後には、町内ごとに今後の防災への取り組みについて話し合い発表して研修を終了しました。

このように地域で防災を考えるきっかけとしてクロスロードを体験し、次の実地の防災訓練へつなげるといった取り組みは素晴らしいことですし、共に創るお手伝いが少しはできたのではないかと感じました。

(城南支部 上野 直美)

編集後記

今回も皆様のご協力をいただきまして、会報誌の発行を行うことができました。今後も皆様に興味を持っていただける記事を掲載していきたいと考えております。掲載記事に関してのご要望、ご提案等がございましたら、所属支部の広報部員にご連絡下さい。また、ホームページの運営についてもアドバイスやご意見お待ちしております。

広報部長 松本 一郎